

「児童虐待を未然に防ぐための寄り添い型支援事業」 成果報告書

特定非営利活動法人マミーズ・ネット

はじめに

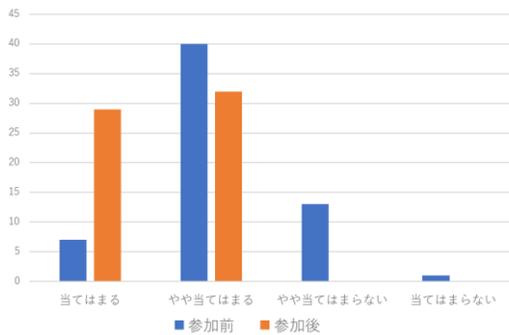
本事業はNPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンドより採択され、ドコモ市民活動団体助成事業として2021年8月～2023年7月まで約2年間にわたり実施いたしました。進む少子化、新型コロナウイルス感染拡大の影響など、子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、児童虐待を未然に防ぎ、子育て中の親子が地域に包摂されながら安心感を持って子育てができることを目的に様々な事業に取組みました。その結果、本事業は「児童虐待を未然に防ぐことに効果がある」と結論付けました。

報告①

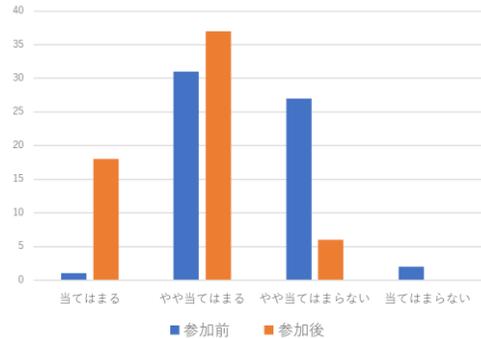
「しつけの基本」がわかる保護者向けワークショップ

毎回申込は定員の2倍あり、ニーズの高さを感じました。また、終了後のアンケートでは参加の「前」と「後」で大きく変化がありました（回答者：ワークショップ参加者のべ61名）

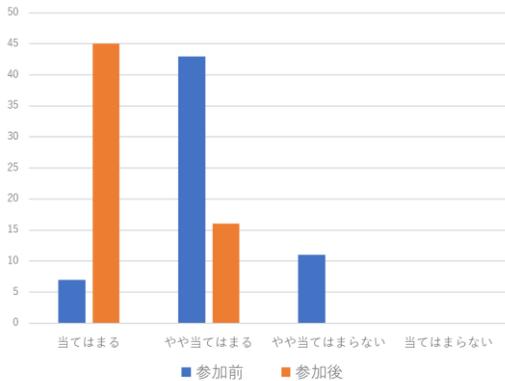
「しつけ」と「こどもを怒る」ことの違いがわかる



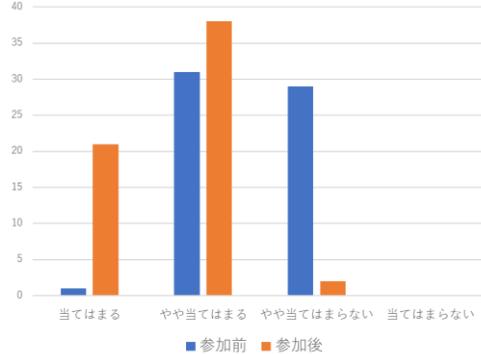
わが子にあった具体的なしつけの方法をいくつか知っている



これからの子育てについて前向きな気持ちを持つことができる



しつけに関する悩みや困りごとを解決できると思える



このワークショップを受けることで、子育て中の保護者は

- ▶わが子に合った具体的なしつけの方法を見つけられます
- ▶虐待手法によらない「適切なしつけの手法」が体験的に理解できます
- ▶今後の子育てに前向きな気持ちを持つことができます
- ▶先の見通しが持て、主体的な養育イメージが獲得できます

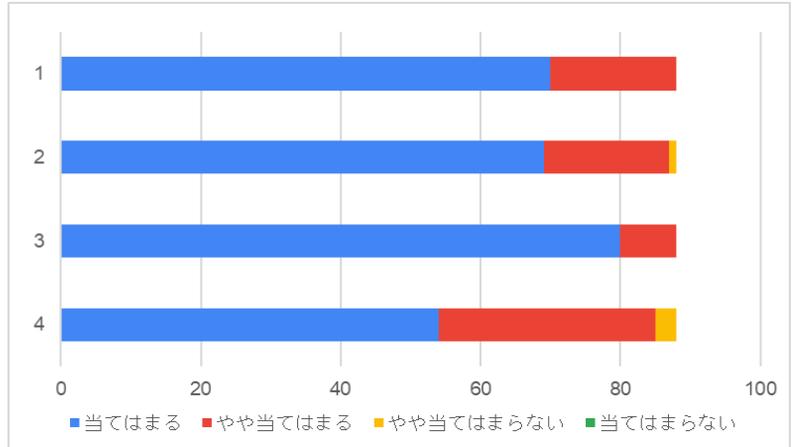
以上のことから、児童虐待を未然に防ぐ効果があると考えます



「寄り添い型支援」について理解を深める子育て支援者向け研修会

寄り添い型支援とは、親子の気持ちや自己決定に寄り添い、エンパワメントする支援です。
 (回答者:研修会に参加した子育て支援者のべ84名)

- 1, 乳幼児～学童期までの親子を支えるための知識が深まりましたか
- 2, 「寄り添い型支援」について参加前よりも理解を深めましたか
- 3, 「寄り添い型支援」が児童虐待の予防的な役割を果たすと思えましたか
- 4, 「寄り添い型支援」をご自身の子育て支援の現場等で実践できそうですか



アンケート結果から

▶子育て支援者の約90%が「寄り添い型支援は児童虐待の予防的な役割を果たす」と回答。地域の子育て支援者が「寄り添い型支援」を実践していくことで、児童虐待を未然に防ぐ効果があると考えます

おわりに

本事業に参加した子育て中の保護者、子育て支援者の声をご紹介します。

子育て中の保護者の声

- しつけは「ダメなときに注意すること」だと思い込んでいた。これからはほめる、認める習慣をつけていきたい。
- みんな悩んでいるんだとわかったら気持ちが軽くなった。明日からまた頑張ろうと思えた。
- ひとつのやり方でうまくいかなくて当然だとわかった。その場に応じた対応を考えていきたい。
- 他の参加者の言葉にハツとして自分の子育てを振り返ることができとても良い時間だった。

子育て支援者の声

- 頼られると何か良いアドバイスをしなくてはと構えていた。大切なのは話を聴くこと、寄り添うことだとわかった。
- 相手の力を引き出す支援の大切さに気が付けた。明日から支援の現場に活かしていきたい。
- 子どもはもちろん、親を肯定的にとらえること、自己決定に寄り添うことが信頼につながると改めて感じた。
- つい指導的な関わりになりがちだった。身近な相談相手として「聴く」ことを大切にしたい。



保護者向けワークショップの様子

【本事業へのお問合せ】

認定NPO法人
 マミーズ・ネット

新潟県上越市中田原1
 ☎ 025-526-1099
 ✉ info@mammies.jp



@kosodateinjoetsu @410cvqrb